

## 小規模企業景気動向調査(7月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

市では、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある地域経済の回復と、地元事業者の支援に向け、市民の生活を応援し市内の消費喚起に繋げるため、50%のプレミアムを付けた地域限定で利用できる商品券を販売。最近大きく伸びているネット販売を地域内で購入することで、地域経済の活性化に繋がっている。

(青森市浪岡商工会)

コロナが落ち着いてきているため、消費者の行動が緩やかに火がついていると思われる。

(湯前町商工会)

人流抑制が終息し地域経済の回復によって、業況が好転する業種が多い。また小売業を中心に、仕入原価高騰を徐々に価格に転嫁し始めている。

(玖珠町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

8月は宿泊業は前年に比べて宿泊者数は増加したが、全業種において新型コロナウイルス感染症拡大及び原油価格の上昇などにより採算が悪化している。

(大槌商工会)

ロシアのウクライナ侵攻及び急激な円安の為に原材料や経費が嵩むようになり、全体的に仕入単価及び経費が嵩むようになっている。その分を価格転嫁することが難しく、国民全体が収入減となっている状況の中、生活必需品などの不可欠な商品以外の価格が上がると購入することを控えるなど、更なる売上減少を招く

(北塩原村商工会)

やはり物価上昇の影響が、様々な業種に影響を及ぼしている。今後、10月にかけて更に値上げが想定されることから、これまで以上に消費の停滞が予想される。ロシアのウクライナ侵攻が全ての始まりであり、安定的な物流が阻害されてしまった事から、ここにきての急激な円安も相まって、非常に不安定な経済となっている。借入金の元金返済が始まった企業も出てきているが、返済の目途が立たずリスケや据え置きを含んだ借換案件が出始まっていることから、資金が回っていないことが見て取れる。先行き不透明な経済情勢である

(会津美里町商工会)

原材料を仕入れるたびに価格が変動しているため、受注の都度、売上原価の再計算をしなければならず、事務作業にかかる時間が増加している。

(香取市商工会)

新型コロナウイルスの第7波の影響が続いており、来店客数もなかなかコロナ前の水準には戻ってはいないものの行動制限等はないため以前よりは状況はよくなっている。しかし、原材料価格等の高騰が続いており、多くの業種において採算性の悪化を心配される声が聞かれた。

(栄町商工会)

全体的に経済が停滞している印象を受ける。円安による影響で食品をはじめとした輸入商品の値上げが止まらないため、消費者も購入量を減らすなど買い控えをしているため、お店の利益率は下がっている。

(小須戸商工会)

全体的に売上高はやや上昇気味に推移しているが、仕入コストや固定費の値上げにより営業利益が圧迫している。値上げ交渉も行っているが、据置返済も始まり非常に厳しい。最低賃金の上げが行われると更に

(松阪北部商工会)

コロナ感染は拡大傾向にあったが、移動規制がなかったため観光の入込も盆の帰省客も増えており売上の上昇した事業者があった。金融面では新規や借換の相談がほとんどない、コロナ融資の元金返済が始まり厳しい事業者が出ている。

(新温泉町商工会)

飲食業は、コロナ禍が収まらない中、去年よりは客が戻ってきているが、コロナ前の水準には至っていない。持ち帰り事業、小売店への卸商品の開発など商品開発、持ち帰り弁当メニューなどを充実させている事業所は、売上をのばしており、コロナで沈んだままの店と活気のある店と2極化となっている。

(鶴の町商工会 野田支所)

物価の急激な高騰や、未だコロナの影響を受けている業種もある。コロナの影響が緩和してきたかと思うと、ウクライナ情勢による原油価格の高騰や、原価の高騰と、次から次へと事業者のおかれている状況は厳しい一方である。国や県には引き続き、県内小規模事業者への支援策を提供いただきたい。

(中城村商工会)

## 2. 製造業

### <改善傾向を示すコメント>

食料品製造業の関しては、外出自粛も徐々に薄れつつあり、観光客や家族連れでの来店などイベント開催が売上の好調につながっている。

(喜連川商工会)

金属部品製造業は、受注量が増えており売上は安定してきている。

(富山市八尾山田商工会)

製茶業においては、お中元や土産物などが動いたことから対前比で売上回復した模様。製陶業においてもコロナで大きく落ち込んだ前年に比べ回復しつつある。陶土等の原材料の値上げもあるが、県による原材料高騰応援金が創設されており活用がされている。

(嬉野市商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

原材料の高騰により利益の圧迫に繋がっている状況にある。売上に関しては、価格高騰により消費者の買い控えもあってか、減少傾向にある。原材料の価格が上がっていることから、売上金額に価格転嫁しているものの、そうすると最終的には、消費者に跳ね返ってくることから受注量の減少に繋がっているものと思われる

(会津美里町商工会)

仕入単価上昇に加え、従前からの人手不足に加えコロナ感染による急な出勤停止により安定操業に不安を抱える状況になっている。

(戸田市商工会)

原材料を仕入れるたびに価格が変動しているので、受注の都度、売上原価の再計算をしなければならず、事務作業にかかる時間が増加している。

(香取市商工会)

金属加工業は受注量は確保されているが、取引先の状況に左右され材料供給が不安定な製品については受注が減っているものもある。動力となる燃料や電気価格の高騰が経費面を圧迫しているが価格に転嫁はできず採算面では苦しい。またNC旋盤加工をしている事業所では機械の入替の必要があるが、発注後、納期が1年後となる状況が続いており、古い機械を修理しながら使用せざるを得ない状況。

(佐久市望月商工会)

食料品については、行動制限解除により、盆の時期には県外からの来店があるなど、来店増に繋がっている。しかしながら、包材や原材料の価格高騰が止まらず、販売価格に転嫁しきれずに利益としては下がっている。繊維工業は、受注量は、コロナ前の水準に戻りつつあり、来月も安定した受注量を確保できる見込みである。機械・金属については、売上額は前年並みで回復していない。問い合わせがあるものの単価が低く、採算が合わないものも散見される。雇用調整助成金を活用し、従業員の雇用維持に努めている。

(岩美町商工会)

製造業全般において、従業員がコロナに感染または濃厚接触者となった際に、著しく人手不足となり生産量が大きく減少する。食品製造業においては、原材料高騰により自社は価格転嫁を行なったものの、競合他社が値上げを行っていない場合、顧客がそちらへ流れてしまい売上の低迷に繋がるケースも見られた。

(真庭商工会)

木材を扱う事業者は、昨年のウッドショックにより木材の仕入れが困難になったことや仕入れることが出来ても木材の仕入れ値が従来の1.3~1.5倍にもなる等厳しい状況が続いている。あわせて、今般のウクライナ情勢の影響により原材料費の高騰及び原油高により収益性の悪化が見受けられる。一部の製造業者は、置かれている環境を冷静に把握するとともに自社の経営を見直すきっかけにもなっており国、県の補助金等を活用し新事業展開や新部門の立ち上げにより収益性向上を目指している。

(佐賀市南商工会)

食料品：売上があがっても原料高による仕入高騰で収益が圧迫される状況が続く。ウクライナ侵攻による穀物由来の原料の高騰が響く。繊維工業：コロナ禍での原料高により売上上がっても収益圧迫。老朽化した生産機械も買い換えないといけないが新品の機械は半導体の関係で在庫に時間がかかり、その影響で中古品の機械も品薄気味で価格が高騰している。金属工業は原料調達が行えているものの仕入価格がかなり上昇しているので売上が減少したことも影響し、収益がやや悪化傾向となった。

(宇城市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

建設業者は一部資材高騰の影響等を受けてはいるが、売上は安定してしている。人手不足、従業員のコロナ感染、災害対策など不安要素の多い環境の中でDXを進める小規模事業者もみえてきた  
(富山市八尾山田商工会)

公共工事の入札が開始して、自然災害の復旧工事の受注が増加している。

(大月市商工会)

建築業では、仕入れ価格の高騰が続いているが、販売価格に転嫁できているため、利益は安定している。

(湯前町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

地域的に災害復旧工事がここ数年続っており受注は心配していない。人手不足があり、仕事はあっても受注できない状況も生まれている。

(天龍村商工会)

建設業関連の事業者は木材価格の高止まりのため収益に影響がみられる。又、需要はあるもののウッドショックが継続しているため、資金繰りにも影響がみられる。

(新ひだか町商工会)

建設業については、現場数の大きな減少は見られないが赤字の現場が出てきており、売上減少および資金繰りの悪化につながっている。

(栗原南部商工会)

受注しても資材が入らないため仕事ができない。さらに来年からはじまるインボイス関連で、小規模事業者は取引先からインボイスの要請を受けたりしており、売上1000万円以下で課税事業者となってしまうのは

(北茨城市商工会)

原材料や資材の価格変動が激しく、売上原価の計算をしなければならず事務作業にかかる時間が増加して

(香取市商工会)

建設業に関しては、資材は確保出来るようにはなりつつあり、昨年と比べると現場が止まってしまうリスクは低減した。しかし、経費の高騰により、採算や資金繰りの悪化などの影響は継続して発生している。止まらない円安や、今後懸念される燃料の高騰など不安要素は尽きない。

(中央市商工会)

トイレなどの設備は手に入りやすくなったものの、メーカーによっては海外の工場がコロナによる操業停止などで遅れが出ている。

(掛川みなみ 大須賀)

材料が高騰し見積もり(予定)ができない。設備関係は商品が入ってこなくて工期が組めない。

(能勢町商工会)

建設業者は、公共工事はコロナウイルス感染者が出ると工期遅延に繋がり、機械備品等のリース期間が長くなってしまい収益低下に影響を及ぼす。

(米子日吉津商工会)

土木関連の建設業は、公共工事を中心に受注があったため、8月は全体的に忙しく、売上も先月と比較して増加した。物価上昇に伴い、経費が増えているため、採算は悪化している状況である。

(みまさか商工会 勝央支所)

建設業:リフォーム業はエコキュート、エアコン、ボイラーが入手しにくく、注文があっても完成に時間を要している。景気悪化で住宅メーカーから下請業者への注文が減っている。他の事業への参入をされた事業所も

(宇城市商工会)

#### 4. 小売業

##### <改善傾向を示すコメント>

夏祭り等のイベントが規模縮小ながら3年ぶりに開催され、あくまでも前年対比では持ち直しの感がある。

(もがみ南部商工会)

長引くコロナウイルスの影響で、ネット小売業は好調である。しかしこの状況に甘えることなく、次の経営戦略をねる段階に入ってきている。

(笠松町商工会)

食料品小売業関連事業者は、制限なしのお盆休みや学生の夏休みなどにより売上が増加し、ややではあるが好転している。

(若宮商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

衣料品関連の事業者は、市内でのコロナ感染者が増えたことで外出を控えるお客様が多く売上減少。地域のお祭りもあったが売上の回復には繋がっていない。食料品関連の事業者は、肥料、飼料、農薬、資材とも輸入に頼っているため値上がりが続き円安も相まって高騰。今年の気候から追肥が控えられたことで肥料売り上げは減少、またコロナ感染者増により業務用米の出方も下がった。4年産米の仮渡し価格が若干上昇する見込みが示されたが、米余りが解消されたわけではなく物価上昇に伴う値上がりなので、期中における値下がりも十分あり得て、先行き不透明ななか米集荷業廃業の動きが全県的に進んでいる。

(かづの商工会)

輸入食材等の価格上昇により仕入単価が上昇し、商品の価格転嫁を行ったが購入量を制限する方も多くなり売上単価は変わらないが利益が減少している。

(北塩原村商工会)

原材料を仕入れるたびに価格が変動しているので、受注の都度、売上原価の再計算をしなければならず、事務作業にかかる時間が増加している。耐久消費財の値上げが連日のように発生しているが、駆け込み需

(香取市商工会)

自動車関連の事業者については、新車の納品期間について、これまで半年待ちだった商品が物によっては2か月で納品されるなど、納期が改善されつつあるとのことでした。中古車は依然価格が高止まりしている状況で、下取り価格もこれまでにない高値で取引されているとのこと。食料品小売業については、円安の影響で輸入商品が値上がりした影響で、国内産の商品にお客様の目が向き始めているようです。

(宝達志水町商工会)

行動制限がなく観光シーズンで人流は増加したが物価高の影響が買い替えや客単価の低下で売上伸びず厳しい状況。イートイン需要が持ち直す中テイクアウト需要が低下しブームが過ぎる可能性あり。光熱費や人件費の高騰おコスト上昇により利益の確保は厳しい。感染者増加に伴い従業員の感染などで人材確保や休業時短など店舗はコロナの影響は大きい、9月以上の仕入価格の値上げは10%以上になり。販売価格への転嫁も追いつかず客離れも懸念材料である。

(北杜市商工会)

お盆期間中は例年になく人の動きはあったが、売上には直結せず動きとしては鈍い状況。一方でネット販売はやればやるだけ成果として出ているという事業所もある。また家電製品については型遅れで入荷しているが価格は2割程度上昇しているとのことである。

(丹波市商工会)

菓子製造小売業では、お盆のお飾り用の砂糖菓子・落雁の動きがよかった一方で、材料代の値上がりが大きかったことで資金繰り難が続いている。コロナ資金での借入が増加・据置していたことから返済が進んでおらず、借り換えることもできなかったことが更に痛手となった。少しでも売上増加に繋げるため、秋にも催事やイベント出店を継続していく。

(神崎市商工会)

8月は対馬市においても、毎日約80~100人の新型コロナウイルス感染症感染者が確認された。小売店の中には従業員がコロナ感染・濃厚接触者に指定されたため人員のやり繰りに苦心し、休業や営業規模の縮小を迫られた店舗も見受けられた。

(対馬市商工会)

物価高に伴う商品の値上げが地方の個人商店においては、高齢者の顧客を中心に購入点数や来店機会の減少に繋がっており、仕入額の増加と比較して売上額の増加の割合が低く、利益が減少している。

(志布志市商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

コロナ禍以降初めてとなる行動制限のないお盆であったため、宿泊業では昨年同月に比べると売上が伸びた。特に個人客の入込は、コロナ禍前の7割程度にまで戻ってきた印象。

(山ノ内町商工会)

旅館業の多くは、お盆期間の宿泊客数がコロナ前の水準にもどってきただけでなく、夏休み期間の宿泊客数もかなり開府服したことで、全般的に良好であった。

(石央商工会)

夏休み期間ということもあり、予約が多く入っているという事業所の声が聴かれた。人気の宿泊所においては、2~3か月先まで予約でいっぱいという話が合った。始めの方は、新型コロナウイルス感染症にならないか心配する声もあったが、現在はwithコロナという認識で感染対策を徹底して営業をしていると思われる。

(竹富町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

宿泊業では、8月に大雨警報が出され、同じ県内(村内)で被害等がでて、離れた場所であったが予約のキャンセルが相次ぎ売上の減少となった。

(佐井村商工会)

県民割等で一部の宿泊施設は平年並みに入っているが、新型コロナの影響により思うように客足が伸びていない状況の中、電気料や燃料等の高騰に影響により経費が嵩むようになり、売上が伸びずに経費が掛かるようになり利益減少。

(北塩原村商工会)

原材料を仕入れるたびに価格が変動しているので、受注の都度、売上原価の再計算をしなければならず、事務作業にかかる時間が増加している。

(香取市商工会)

宿泊業は、前年同月に比べれば客数も売上も増加しているところが多いが、コロナ感染者数の高止まりにより、思っていたほどは増加しておらず、合宿客のキャンセルがダメージを受けたところもある。洗濯業は燃料価格高騰の影響で採算が悪化傾向にある。理美容業も売上が伸びない一方で水道光熱費が上昇しており、今後の見通しは明るくない。

(妙高高原商工会)

サービス業については、コロナ禍ではあるものの自粛ムードが改善されつつある影響で、売上は増加傾向であるが、資材・燃料などの経費高騰が増加分を打ち消している状況。

(宝達志水町商工会)

・飲食店では食材の仕入れ価格の高騰に加え、水道光熱費の高騰も響いており、採算面では苦しい状況。メニューの見直しや価格改定を行うが、十分価格に転嫁できない状況。夏の観光シーズンで県外からの入込は増えたが、コロナ禍の中、夜の利用は少ない。

(佐久市望月商工会)

・宿泊…稼働率も上昇し多くのスポーツ団体、インターシップのグループなどが増えてきている。コロナ前より売上は減だが、前年度よりは大きく上回っている。洗濯業…原油高、円安の影響から仕入コストが増大。経営を圧迫している。理容…8/9家庭内でコロナ感染し連鎖的に2週間休業せざるえなかったため売上は大幅に減少。事業主も高熱が5日間続き現在倦怠感が抜けていないため休業前ほどの人数がこなせない状態であり、今後この状態が続くようであれば売上も恒常的に減少してしまうことが心配です。

(野洲市商工会)

・理美容業の多くが家族経営の事業者は、コロナ感染してしまうと2週間程度の休業を余儀なくされるため、売上が減少だけではなく、他店へ移られる影響が不安観が強く感じている。

(田原本町商工会)

・旅館宿泊業に関しては、コロナの行動制限解除であり県民割り等もあったため、わずかに売り上げは増加。洗濯業は材料の高騰は引き続きあるが、価格に転嫁できていないため採算は悪化傾向。理美容業で地域内でコロナ感染は続いており、小規模事業者のコロナ感染により店舗休業等が見られる。

(柳川市商工会)